

1. 評価結果概要表

評価確定日 平成20年 2月 1日

【評価実施概要】

事業所番号	2294200098
法人名	有限会社 政経
事業所名	グループホーム 静岡駿河の家
所在地 (電話番号)	静岡県静岡市駿河区中野新田 396 054-287-7000
評価機関名	セリオコーポレーション有限公司
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町 4番1号
訪問調査日	平成19年11月27日(火)

【情報提供票より】(平成19年 10月 12日事業所記)

(1)組織概要

開設年月日	平成 18 年 09 月 01 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 9 人, 非常勤 6 人, 常勤換算	11.0 人

(2)建物概要

建物形態	単 独	新 築
建物構造	木 造	造 り
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分	

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	57,000 円	その他の経費(月額)	12,000 円	
敷 金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000 円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	— 円	昼食	— 円
	夕食	— 円	おやつ	— 円
	または1日当たり 1,300 円			

(4)利用者の概要(平成19年9月01日現在)

利用者人数	14 名	男性 3 名	女性 11 名
要介護1	4 名	要介護2	4 名
要介護3	3 名	要介護4	3 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 77.1 歳	最低 67 歳	最高 93 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	萩原医院 ・ 深沢歯科
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

政本病院グループ50番目の最も新しいホームであり、若い館長を中心に独自の理念「明るく楽しく 笑顔が絶えない 夢のある楽しい我が家」のもとに、最重要目標として、医食住の充実・統一的ケアの実施を掲げ、職員が一丸となって利用者本位の介護を実践している。
更に素晴らしいホームの実現のため、地域密着型理念の追加・自己評価票作成への全職員の参加・ターミナルケア指針やマニュアルの作成が望まれる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>今回が初めての外部評価である。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価票は、職員が自ら作成に参加することにより、その意義の理解と評価を生かした改善への取り組みに繋がることが期待される。作成担当者は、外部評価の自己評価票の沢山の項目を見ながら、自信や反省を感じている。しかし、今回は館長やフロア長の責任者のみの対応になっており、職員全員での取り組みが望まれる。</p>
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	<p>運営推進会議では、ホームの紹介・入居状況・事故報告・月毎のイベントの紹介等を行い、地元の理解を得るよう努めると共に、そこでの意見をサービス向上に生かすよう取り組んでいる。</p>
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	<p>原則的に請求書を郵送で送らず、月一度ホームに来院してもらっている。その折、ホームでの生活振り・金銭管理状況等を報告し、ご意見や要望を聞き、運営に反映させている。重要事項説明書に、内部・外部の苦情受付窓口も明記されている。</p>
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	<p>朝のラジオ体操には、地域の住民も多数参加してくれる。地域の自治会に加入し、回覧板を回してもらったり、地域行事への参加や、納涼祭等のホーム行事への参加要請を行い、地域との交流促進に努めている。今度のクリスマス行事には、手作りのチラシの手渡しを予定していた。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念	ホーム開設時に皆で作上げた独自の理念「明るく楽しく笑顔が絶えない 夢のある我が家」を、職員全員が誇りに思い、介護の実践に生かしている。しかし、地域密着型に相応しい「地域住民との交流」の視点からの追加の検討が望まれる。	○	法的に新たに地域密着型が強調されている折から、運営規定・契約書等にその考え方が反映されるとともに、日常の運営に生かすことが期待される。
		地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている			
2	2	○理念の共有と日々の取り組み	採用時にも理念の実践のため、人間味・和を考える人を選び、ヒヤリングした職員もそれをスラスラと語り、理念を納得して日々の介護に取り組んでいる。		
		管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる			
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい	地域の自治会に加入し、回覧板を回してもらったり、地域行事への参加や、納涼祭等のホーム行事への参加要請を行い、地域との交流促進に努めている。		
		事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている			
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用	外部評価の自己評価票の沢山の項目を見ながら、作成担当者は自信や反省を感じている。しかし、今回は館長やフロア長の責任者のみでの対応になっており、職員全員での取り組みが望まれる。	○	職員は自ら作成に参加することにより、その意義の理解と評価を生かした改善への取り組みに繋がることが期待される。
		運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる			
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み	4ヶ月に1回の開催になっているが、会議では、ホームの紹介・入居状況・事故報告・月毎のイベントの紹介等を行い、地元の理解を得よう努めると共に、そこでの意見をサービス向上に生かすよう取り組んでいる。		
		運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている			

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携	毎月生活保護者の状況やホームの現況を報告し、アドバイスを貰いながらサービスの質の向上に取り組んでいる。		
		事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる			
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告	利用者の家族で不便を感じている人もいるが、原則的に請求書を郵送で送らず、ホームに来訪してもらっている。その折、ホームでの生活振り・モニタリングの状況・金銭管理状況等を報告し、意思の疎通を図っている。		
		事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている			
8	15	○運営に関する家族等意見の反映	原則的に月一度のご家族の来訪時に、ご意見や要望を聞き、運営に反映させている。重要事項説明書に、内部・外部の苦情受付窓口も明記されている。		
		家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
9	18	○職員の異動等による影響への配慮	採用時から利用者に馴染める職員の採用や、悩みを聞いて定着に留意しており、移動時は利用者へのダメージを与えないよう、個々のケースで判断し、対応している。		
		運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている			
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み	法人内研修として、職員のレベルに応じてAA・A・B・E課程や院内学会が準備され、参加やレポートの義務付け・ホーム内での発表等で、職員は育成されている。資格取得には奨励制度も設けられている。		
		運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている			
11	20	○同業者との交流を通じた向上	地域包括支援センターが主催する勉強会には参加しているが、同業者とのネットワーク作りや相互訪問等はこれからである。	○	更なるホームの質向上のため、同業者との交流促進を期待したい。
		運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている			

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	契約前の見学会や、気楽に遊びに来てもらってお茶を飲みながら雰囲気を掴んで頂いている。入所後は生活歴を尊重しながら殆ど付き添い、徐々に馴染めるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活歴から、野菜作り・料理・編み物・ギター等の得意分野を探し、利用者から学びながら支えあう生活を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に利用者・家族から状況や希望等の情報を把握し、対応されている。また、日常も利用者の様子を観察し、日々の支援が検討されている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員の介護支援に対する姿勢には、利用者の課題を施設全体で取り組む様子が伺える。また、利用者に関心を感じてもらった支援について検討されている様子について、職員から具体的な話を伺うことが出来た。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎週水曜日にケアカンファレンスをフロア毎に行っている。モニタリングを月に1回行い、ケアプランの見直しは、3か月毎に行なわれている。また、状態変化時には、ケアマネを中心に会議を行った上、ご家族に意見を伺い、新たな計画を作成し、利用者・家族への説明も行なわれている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の状況を把握し、家族の要望や意向を検討し、従来からのかかりつけ医や提携医・総合病院への対応・馴染みの美容院の利用等、柔軟に対応した支援が行われている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者はかかりつけ医または協力医から毎月の受診を受けている。総合病院への受診についても家族との話し合いが持たれ、支援されている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期の対応について、家族の意向を伺うと共に、老人福祉施設・療養型病床群への移動について話し合いの場を持っている。しかし、ホームとしての指針やマニュアルはなく、全職員が対応できるまでには至っていない。	○	ターミナル対応は、ホームに対し今後益々必然的に求められる機能であり、ホームとしてよりも法人全体としての指針やマニュアルの作成が求められる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉かけや対応について、研修会等で職員の教育に熱心に取り組む姿勢が感じられる。また、職員の個人評価を作成し利用者のプライバシーが確保された支援について、前向きに取り組んでいる。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の意見や要望を確認し、可能な限り利用者のペースに合わせ、その日の生活支援が行なわれている。例えば、馴染みの美容院には希望に応じて出かけるなど、可能な限りの対応に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援	献立は利用者の意向も伺い、毎食手作りされた食事が摂られている。職員は栄養面・好み等にも気を配り、異なった職員による検食制度を活用し、美味しく食べてもらうよう努力されている。また、準備や片付けも利用者と共に進められている。		
		食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている			
23	57	○入浴を楽しむことができる支援	入浴は曜日・時間を決めているが、各階でずらしてあるため、何時でも利用者の入浴希望に合わせてもらえる。また、利用者には負担にならないような声掛けを行なうよう努めている。入浴日以外に、外出や病院の受診などができるよう工夫し、計画されている。		
		曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している			
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援	利用者ごとの生活歴を活かすよう役割などが決められ、実行されている。また、職員は趣味を再開できるよう利用者の状況の把握に努め、支援する体制がとられている。		
		張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている			
25	61	○日常的な外出支援	毎日のラジオ体操を屋外で行い、近所の方も参加され交流を深めている。日常的な散歩や買い物も利用者の希望に添うような支援がされると共に、車での外出の機会を計画するように努めている。		
		事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している			
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践	利用者の位置や安全確認をすることで、居室や玄関の鍵は掛けられていない。また、入り口には利用者に分かり易く張り紙で注意を促す配慮もされている。		
		運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる			
27	71	○災害対策	定期的な防災避難訓練を計画し、実行されている。また、ホームを近隣の住民の避難場所として施設を提供するよう検討されている。		
		火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている			

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援	利用者の状況に応じた支援計画が作成され、食事量の摂取状態の把握はされている。また、感染症や衛生に関する研修が行われ、職員の認識向上に対する努力もされている。		
		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり	玄関には職員の手作りの理念が印象的である。また、家庭的な環境や季節感を感じさせるよう、共用空間には利用者や職員の作品が飾られている。常に利用者が室内で取り組めるように、幾種類かのものが用意されている。		
		共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている			
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮	利用者それぞれの好みの物や、記念にされていた物が置かれている。家族からの写真などが利用者へのメッセージを伝えており、利用者が居心地よく過ごせる工夫がされていた。		
		居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている			